

令和7年12月12日（金）

あさひの日だまり

NO.27

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～懇談会ありがとうございます～

ご来校感謝申し上げます

今週から懇談会が始まりました。帰り際のお母さんに「よいお話ができましたでしょうか？」とお尋ねしました。「はい、担任の先生にお世話になっています。先生のことを信頼しているようです。本人もだんだんとしっかりしてきたように思います」とお話をしていただきました。「よかったですね。担任の先生もよく見て下さっているとは思いますが、一番は本人が頑張っているんです」とお伝えしました。

子どもたちは保護者の皆様に先生にそして家族の皆様にと多くの人に愛され優しく包まれて過ごしています。保護者の皆様と先生とご家庭とが子どもを中心に思いを一つにしていられることが子どもにとって一番安心で過ごしやすい環境です。そして伸び伸びとした成長につながる環境でもあると思います。なので、先ほどのようなお話を聞くと本当に嬉しくなります。

場合によってはお子様の姿を見ていて色々心配になることがあると思います。学校の至らないところもあると思います。懇談会の機会に是非相談していただけたらと思います。もし校長に伝えたいことがありましたらご遠慮なく声がけ下さい。お電話にてお話しして下さいても結構です。保護者の皆様と学校とご家庭が同じ思いで子どもたちを見守っていかれることが子どもたちにとって一番大切なことです。どうぞよろしくお願いいたします。

～読書旬間が始まりました～

自分の知らない世界に触れるチャンスです



読書には自分が実体験できない世界を「感じさせてくれる」というすごい良さがあります。まさに本に浸るとはそういう意味であろうと思います。現在学校では読書旬間のいろいろな企画が行われています。この機会に今まであまり読書に興味がなかった児童が本の世界に浸る心地よさを感じてくれたら嬉しいです。



上：校舎の中におかれた「どうぞのイス」からは自由に本を持って行かれます。

金曜日の朝2年生の教室を訪ねると5年生の皆さんが教室を訪れて読み聞かせをしていました。いくつかのグループに分かれて5年生が思い思いの本や絵本を読み聞かせていました。2年生が見やすいように絵本を広げて真剣に読んでいました。2年生は身を乗り出してお話を聞き入っていました。教室に5年生の皆さんの心のこもった語りの声が響き本当に心地よい時間が流れていました。

左上：図書委員会の企画で読書旬間ははじめの会

右上：5年生から2年生への読み聞かせの一場面

～1年生が焼き芋大会を行いました～

「おき」で焼いたお芋の味は最高でした



2日の火曜日に1年生が焼き芋大会をしました。校務技師の野村先生が早朝から薪を燃やして下さり、子どもたちがイモを入れるときには赤々と輝く「おき」ができ上がっていました。ずいぶん朝早くから火をおこしてくれたに違いありません。子どもたちのために本当にありがたい思いがします。

芋を提供して下さった沢底の皆さんが来校して準備を進めて下さいました。その中のお一人のお宅は民泊を営んでおられます。「オランダから宿泊客がいるのだけれど同行してもよいでしょうか」というお話がありましたので「大歓迎です」とお返事しました。写真は子どもたちと一緒に鬼ごっこをしているところです。焼きたてのお芋も食べていただきました。子どもたちも一生懸命になってオランダの方を追いかけていました。そ

んな姿を見ながら「日本って素敵」って思ってもらえたらいいなと思いました。

それにしてもみんなで頬張るお芋のおいしかったこと。思わずたくさんごちそうになって給食が食べられませんでした。そして、火の周りで薪をいじっていることの楽しさに時間を忘れて思わず童心にもどってしまいました。

こういう時間って本当に楽しいです。子どもたちにとってこういう楽しい時間がたくさんあればいいなと身をもって感じました。

～2年生と3年生がオペレッタに挑戦しています～



辰野町では町民会館で毎年オペレッタフェスティバルを開催しています。こういう取り組みをしている自治体はあまりないように思います。そして今年は2年生と3年生がそのオペレッタフェスティバルに参加させていただくことになりました。両学年とも立候補しての参加です。ステージ上で子どもたちが思いっきり楽しんでくれたら嬉しいと思います。

写真は3年生がオペレッタ「もちもちの木」の練習をしているところです。今日練習会場を訪れたところ「初めての通し練習ですのでよかったら観て下さい」と声をかけていただいたので傍から練習風景を見させてもらいました。

子どもたちの劇を見ているうちに私は子どもたちが作り出す演劇の場面の中に引き込まれていきました。目の前にもちもちの木がそびえて見えるように思いました。ちゃんちゃんこを着た子

どもがその木の前を駆け抜けていく姿も目の前に広がりました。

まだまだ台詞も覚え途中でしたが、子どもたちの思いが伝わってくる素敵な劇でした。当日にはご家族の皆様ぜひ足を運んでいただけたらと思います。よろしくお願いします。